



子ども部屋とリビングを分ける住まい方。



ガバナー通信

NO
3

国際ロータリー第2620地区
2021-2022年度ガバナー

小林 聡一郎



ガバナー挨拶

どちらにも利点はあるのですが、広いリビングがよいか、少し狭くなくてももう一つ部屋を作るのがよいか、という選択肢についてです。一見単純にも思えますが、そこにはその家族の住まい方、親と子ども達との距離のとり方、どう育てるのかにも関わってきますので、少し考えなければなりません。

リビング広く派は、子どもも隠し事なく、いつも他の人の存在を感じながら生活させて、そういう生活から他人を思いやったり、距離感を無意識にでも感じることができるようになって、社会生活にも応用できるのではないかと、期待ももてます。

一方、子どもには子ども部屋を、という考え方もあります。独立した部屋があれば、自主的な時間の使い方もでき、世話を焼かれない気持ちの余裕もあって、他人に頼ることなく社会生活ができるようになるのではないかと、どちらが良い、悪いということではありません。家族のあり方や子育てに対する親のポリシーなどに関わることで、物事を考える時のヒントになるように思います。

毎月お手許に届く『ロータリーの友』、皆さんはどのように活用されていますか？「よく読む」「パラパラ読む」「あまり読まない」という人。あなたはどのタイプでしょうか。

確かにたくさんさんの月刊誌はあるし、スマホで読み放題、ニュースもスマホでもなれば、紙の月刊誌は邪魔物扱いされかねませんが、でもそれも中味次第で、ロータリー的に大切なことが書かれていると思えばとっておきたいものになります。

随分以前に私のクラブの安部豊任PDGがお話しくださったことですが、「ご自分がガバナー公式訪問の時に、「どうして友誌は縦組と横組があるのか？」と聞いてきた人がいた。どうしてそうなのかなんて知らなかったから、「それはね、寝て読んでよく、起きて読んでもいいからですよ」と答えた」と。「ナルホドと納得したわけではなからうがそれ以上は聞いてこなかった」。

縦組横組になった理由もあるのですが、『友』誌も、大きなリビングだけではない、機能に応じた部屋を持っています。ロータリーは活動も多岐にわたり、それらを上手に部屋割りしてご覧いただく工夫をし、R1からの情報、ロータリアンのお考え、また人生指針となるような部屋もあつて、どの部屋においても、十分に楽しめる工夫がされています。この『友』誌が発行されなくなったら、私たちは「井の中の蛙」。日本で、世界で起っているロータリー世界のことを皆目わからなくなつて、まさに情報難民の姿になります。

あなたの身近なロータリー情報誌、それが『ロータリーの友』です。

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

[国際ロータリー第2620地区 ガバナー月信 2021.9 / ロータリーの友月間号]

地区運営ビジョン

ロータリーの中核的価値観をロータリアンの行動に変換する。



地区戦略ビジョン

元気で魅力があり地域で存在感のあるクラブを目指してロータリーの価値を高めよう。

DO MORE ☆ RID2620 TOPICS

ガバナー公式訪問(8月編)



三島RC 合唱



8月2日 清水北RC訪問=割烹大花



8月4日 三島RC訪問=呉竹

8月のガバナー公式訪問は、第5波のコロナ禍にあり、静岡県では「まんえん防止」が発令され、8月6日(金)に警戒レベル6に引き上げられました。山梨県では同日、臨時特別協力要請が出ました。8月例会を休会とするクラブも多くあったことと思います。8月のガバナー公式訪問に関しましては、初旬は通常で、その後いくつかのクラブは例会の開催方法を変更とし、また、数クラブの会長幹事会はZoomでのオンライン開催となっております。8月4日(水)に三島RCを訪問した際、堀内満喜子会員のエレクtoon伴奏で渡邊脩助PDGをはじめ、クラブの皆様が歓迎の歌を合唱披露してくださり、感激いたしました。毎日のように全国での感染者数は過去最多が報じられています。会員の皆様の安全を第一に、くれぐれもご自愛ください。

青少年交換小委員会

ロータリープログラム委員会青少年交換小委員会第1回委員会研修を7月24日(土)、静岡商工会議所404号室で開催しました。

2023-2024年度青少年交換プログラム実施を前提に、青少年交換プログラムの新しい仕組みを地区内RCや高校、教育委員会に説明して内容を理解してもらうことを目的とするスケジュールと、ロータリー青少年交換派遣学生募集要項について意見交換を行いました。また、地区ROTEXの動静について確認しました。



報告事項として、「2020-2021年度青少年交換小委員会活動事業報告」「2021年7月4日開催全国青少年交換委員長・危機管理委員長合同会議討議内容報告」「2021-2022年度青少年交換小委員会事業計画確認」について共有しました。

(青少年交換小委員会委員長 雨宮哲也/甲府RC)

地区会員増強維持セミナー



地区会員増強維持セミナーを7月31日(土)、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に鑑みZoomで開催しました。事前のテストミーティングと当日のZoomオペレーションは、中尾均地区幹事と公共イメージ向上・ICT委員会の古屋宏貴委員長にテクニカル・コーディネーターとしてご協力いただき、オンラインセミナーをスムーズに行うことができましたことに深く感謝申し上げます。セミナーへは、小林聰一郎ガバナー、委員会アドバイザーの高野孫左エ門パストガバナーをはじめ、ガバナー補佐の皆様、クラブ会長およびクラブ増強委員長を中心に、166名の皆様にご登録いただきました。

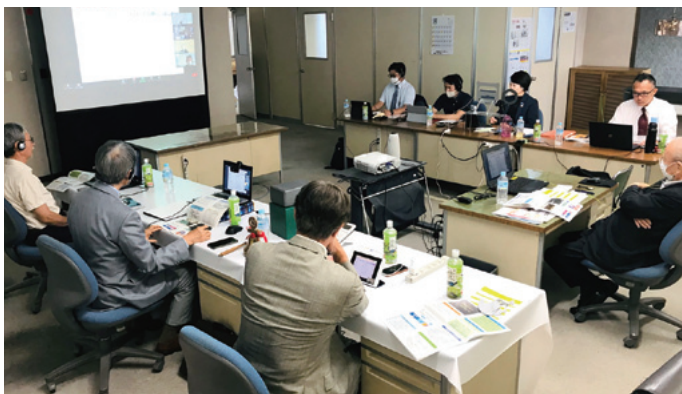
当日は、午後1時の開会点鐘で始まり、ガバナー、アドバイザー、委員長の私からご挨拶をさせていただき、RI第2510地区岩見沢RCの「地方都市における会員増強」のVTRをご覧いただきました。また、高野パストガバナーから「変化認識と対応」と題した講話を賜り、示唆に富んだお話しをわかりやすくお伝えいただきました。続いて、各グループ別に分かれたセッションを行い、ガバナー補佐のリードのもと、活発な意見交換がなされました。全体会で各ガバナー補佐から発表をいただきましたが、それぞれのグループの興味深い事例が共有される貴重な時間となりました。その後、小林ガバナーに講評をいただき、岡村延昌副委員長が閉会の挨拶を行い、閉会点鐘でセミナーを終了しました。今回のセミナーにご出席いただいた皆様に改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

(会員増強維持・拡大委員会委員長 三枝照二／山梨RC)



地区米山記念奨学セミナー

地区米山記念奨学セミナーを8月7日(土)にZoomで開催し、約160名の皆様にご参加いただきました。コロナ禍でのセミナーについて当初は、静岡会場、山梨会場の2カ所で開催し、県境を越えないという構想のもとに進めておりましたが、急速な感染拡大に伴い、会員の皆様の安全を第一に考え、オンライン開催へ切り替えました。当日はガバナー事務所の会議室に運営本部を設け、事前にゲストスピーカーの皆様とのテスト通信を行い、セミナーは午後1時半に小林聰一郎ガバナーの開会点鐘で始まりました。ロータリー米山記念奨学会評議員でRI第3地域ロータリーコーディネーター補佐の安増惇夫氏(RI第2700地区PDG)を講師にお迎えし、「クラブ会長・クラブ米山委員長に期待する米山記念奨学事業への取り組み」と題した講演をしていただきました。安増様の講演は当地区内クラブの実績等の分析に基づいたものもあり、ご参加いただいた皆様におかれましては、大いに刺激になったことと思います。また、ロータリー米山記念奨学会理事の井上雅雄パストガバナーから「ロータリー米山記念奨学会について」と題した講話を賜り、ロータリー米山記念奨学会への寄付についてわかりやすくお話くださいました。その後、当地区米山学友のパッタメストウリゲ、シャマラ マノン ペレーラさんが「米山記念奨学生として得たもの」、藤枝RCの土屋富士子カウンセラーが「カウンセラーを経験して感じたこと」、沼津北RCの大塩秀樹カウンセラーが「米山奨学生に寄り添って」、長泉RCの小原秀樹直前会長が「米山奨学生の世話クラブとなって思うこと」と題してお話くださいました。最後に小林ガバナーから総評と閉会の辞をいただき、セミナーを終えました。



Zoomでのセミナーにテクニカル・コーディネーターとしてご協力いただいた中尾均地区幹事と公共イメージ向上・ICT委員会の古屋宏貴委員長に御礼申し上げ、セミナー報告とさせていただきます。

(米山記念奨学委員会委員長 柳場文彦／山梨RC)

ロータリー 衛星クラブを 語るろう！

当地区内には、2020～21年度に創立された甲府シティ中央ロータリー衛星クラブがあります。新しい形の「ロータリー衛星クラブ」ってどんなクラブなんだろう？どんな活動をしているんだろう？というワクワクした好奇心から、同クラブの田村裕江会員増強委員長とスポンサークラブの吉澤宏治会長との座談会を行いました。

出席者

三枝 照二 「地区会員増強維持・拡大委員会委員長」
田村 裕江 「甲府シティ中央ロータリー衛星クラブ委員長」
吉澤 宏治 「甲府シティRC会長」

三枝委員長 本日は、ご多用中のところお集りいただき、ありがとうございます。当地区内初のロータリー衛星クラブを提唱された甲府シティRCの吉澤宏治会長、甲府シティ中央ロータリー衛星クラブの田村裕江増強委員長にお越しいただきました。『ロータリーの友』8月号では会員増強・新クラブ結成推進月間にちなみ、ロータリー衛星クラブが特集されており、ロータリー衛星クラブについての理解がより深まりました。早速ですが地区内第1号の衛星クラブの状況や活動についていろいろ伺っていききたいと思います。よろしくお願いします。昨年9月14日にホテル談露館で設立例会を開催され1年が経ちますが、現在のクラブの状況はいかがですか？

田村委員長 現在のクラブ会員数は14名で、その内女性会員が11名です。1月のみ例会を休会しましたが、それ以外はハイブリッド例会を休むことなく行っており、だいたいリアル参加が10名、ズーム参加が4名です。

三枝 女性会員が11名とは、すごいですね。

田村 スタート時に甲府シティRCの理事会へ衛星クラブを設立したいと申し出た時は、「女性限定」としたのですが、RI日本事務局へ申請したら「ロータリーは多様性を重んじているので女性だけにこだわってはいけません」と言われましたので、コンセプトとしては、女性が活躍しやすいクラブということです。

三枝 提唱クラブとしては、どのようにバックアップされましたか？

吉澤会長 私は設立時には直接関与をしていないのですが、甲府シティRCには、ロータリー衛星クラブの担当委員会があり、その委員会がバックアップをしています。設立時の会長であり、当時からバックアップをされている奈良田和也パスト会長が委員長を務められています。

三枝 ロータリー衛星クラブを担当する委員会があり、そこがサポートしているのですね。設立する際に苦労した点を教えてください。

田村 設立にあたっては、衛星クラブについてネットでかなり調べました。「衛星クラブとは」という記事を、入会アプローチする対象の方に配りました。今までのロータリーとは違う枠組みのクラブだから

●地区会員増強維持・拡大委員会 三枝 照二 委員長



楽しいですよ、ぜひ力を貸してくださいと頼みました。苦労は当たり前ですが、地区で初めてのトライアルだったので、地区にその部分のサポートをするセクションがありませんでした。RI日本事務局に衛星クラブを立ち上げている地区の衛星クラブについて尋ねたり、そのホームページをネットで調べたりしました。RI日本事務局へ問い合わせても「スポンサークラブと相談してください」しか回答がなかったのも、そこがものすごく不満でした。RIが推奨している新しいクラブ作りの受け皿がないのです。2013年に決まったなら2015年には日本の中にそういうポジションがあってもいいのですが、ないんですよ。ですから実際にスタートしている衛星クラブの情報を集めるよりほかはありませんでした。フェイスブックでいろんなクラブをフォローして、衛星クラブへコメントを入れてやり取りをしました。

三枝 全国を見れば衛星クラブはあるので、衛星クラブ同士で情報交換されているんですね。

田村 8月号「ロータリーの友」でも取り上げられていますが、クラブが1つの衛星クラブを作るためにすごく協力しています。例えば例会時間や会費が合わないとか、甲府シティRCの敷居が高いなら、衛星クラブを紹介してという感じで。地区によっての取組がかなり違うんだと、特集ページを見て感じました。

三枝 地区としてもロータリー衛星クラブに興味を持っています。方向性としては、新クラブを作る一歩前で衛星クラブもいいのではないかと。若い人で、会費と時間の問題がクリアできれば、奉仕活動をしたいという方々はいらっしゃいます。若い人に入っていただけるクラブ作りを小林ガバナーも考えていらっしゃるの、今回はその足掛かりとして衛星クラブを立ち上げられた皆さんと座談会をさせていただけました。地区委員会としてもガバナーからの伝達もあるので、衛星クラブに協力していきたいと思います。

立ち上げ時の会員を、どのように集められましたか？

田村 スタートの9名を集めるのは割と簡単でした。会員が経営している教室の生徒さん3名、そして私の関係が4名。私が地区米山記念奨学委員会の委員を3年務めたので、学友と交流があり、学友に声をかけたところ、快くお返事をいただきました。また、私の会社への出入り業者の社員の方にお声掛けをしたのですが、その支社長からせっかくロータリー活動に誘っていただいたんだから自己研鑽のためにこのチャンスを生かしたらいいと言われ入会が承諾されたケースもありました。彼女は定年後に実家がブドウ農家なので、農業法人を立ち上げる構想もあり、「人脈作りのために」というのが動機付けになりました。

三枝 スタートはスムーズだったんですね。やはり、人脈が大切ですね。

田村 私がロータリー活動をしているのを周りが知っていたので、わりと話は聞いてくれました。

三枝 クラブの会員を増やすために、どのような増強活動を行っていますか？年度内に会員を20名にしてロータリークラブとすることを考えられていらっしゃいますが、どのように目標をクリアしますか？

田村 私だけが入会させていると、会員の皆さんが「田村さんがやるでしょ」みたいな雰囲気になってしまうし、「お任せします」という風になってもこれは良くないと思います。自分たちの意見が反映されるクラブに、会員全員でできるクラブという目標があるので。

三枝 田村ワールドのクラブにするのではなく、会員皆が紹介していけば、皆のクラブとして良いということですね。

田村 今年度のシェカール・メータRI会長は1人1名入会させようと。

三枝 “EACH ONE, BRING ONE”ですね。どのような理由で入会に至った会員が多いですか？

田村 女性はこちらと身近な問題に取り組むのが得意なので、近いところの目標を設定しました。新しいクラブなので、クラブのメイン事業になるような奉仕活動を作らなければいけないので、「皆さんがしてみたい奉仕活動をピックアップしてください」と依頼し、皆さんに発表してもらおうと、良い意見が出ました。提案のあった奉仕事業を1つずつ行い、持続可能な奉仕活動を続けていってその中から取捨選択しようということになり、試行錯誤しながら行っています。そうすると、私もこういう奉仕活動をしたいと意見が出ますので、「あなたのやってみたかったことを実現しませんか」とお誘います。また、60代で一線を退かれた方で、お子さんがいらっしゃらないので、何か自分ができる社会貢献あるかと思われていたところにちょうど衛星クラブの話があり、良いきっかけができたとう入会して下さったりしました。

三枝 卓話で袋井RCへ伺ったのですが、増強委員長が「入会には声掛けだ。今まで声に出さな

● 甲府シティ中央ロータリー衛星クラブ 田村 裕江 委員長



● 甲府シティRC 吉澤 宏治 会長

かった。声を掛けたら入ったのに。声掛けは重要だ」とおっしゃいました。

田村 山梨RCへは、上手に若い会員が入っていますね。

三枝 40歳台で理事ができますし、若い会員がクラブを回します。会長経験者が25名以上いますが、アドバイザーとして協力しています。若い会員は非常に増強に強いです。若い会員が入ってくるとクラブはスムーズに回ります。これは、10年前くらいに会員数38名という時があり、その時の理事の方々はこのままでは30名を切ると危機感を持ちました。日々の声掛けがないとどうしても会員が減ってしまう。執行部に毎年頑張ってもらおうということですね。

田村 私も設立趣意書に書いたように、今の女性が入りにくくなっている現状のRCに、そうではないクラブを作り、そして若い世代に入会してもらいクラブを回したいです。私が頑張れるのも10年くらいかなと思います。お世話になったRCへの恩返しと思ってクラブ作りしていますが、そこがうまく回っていけばいいなと思います。

三枝 平均年齢はどのくらいですか。

田村 甲府シティRCより1歳若いだけで、60歳台です。若い人に入っていただきたい。私の人脈だと70歳なので、そこがクラブの課題ですね。

三枝 若いのが入り、その方の友人が入ればうまく回りますね。40歳台の会員が入ると10年先が楽しみです。運営上の改善点はありますか？

田村 今はコロナ禍のため、例会へオンライン参加の会員がいます。そうするとどうしてもコミュニケーションが希薄になります。例会会場では、皆で手分けして設営しながらコミュニケーションが取れますし例会後もいろいろな話ができ良いのですが、コロナ禍により当初の計画にずれが出ています。例会を2回にした理由は、2回のうち1回は地区内、地区外そして女性の多いクラブや女性ガバナーを輩出したクラブヘリアル参加をしようとしたのですが、今はできないのでだれてます。ズーム参加の人が途中でいなくなったりして、60分の例会のうち40分はいないと欠席になると警告をしましたが、いなくなるのは楽しくないのではないかと思います。発言をしていただくことにし、解消しました。また、会員に5分間のワンポイントストレッチをレッスンしていただきましたが、これがとても良かったです。

三枝 楽しいのがいいですね。

田村 ストレッチは的確な指導もあり、楽しい雰囲気できました。1時間のプログラムは執行部が忙しいのはやむを得ないですが、楽しい例会をセットしないとといけなさと実感しました。会費を払って見ているだけだとつまらないですね。

三枝 行っている奉仕活動があれば教えてください。

田村 クラブの会報に載せていますが、明生学園への支援として、設立時の9名でしたが、全員で1万円ずつ出してマスクを調達して寄付しました。また、同学園では3月に1名巣立つ女子がいました。お祝金1万円を差し上げに行ったのですが、私から化粧品をプレゼントしたところ、お祝金には普通の反応でしたが、女の子なので化粧品には明るい顔になりました。エステ券をあげたら後日先生と一緒に来ました。今は大原学園に通っています。また、アルバ



イトの相談を受けたのでアルバイト先を紹介しました。来年は男子2名が卒業します。そのまま東京へ出ると放り出されて都会で傷つき泣きながら園長のところに相談に来ることもあるそうです。そういう子を受け入れているグループホームがあり、グループホームだと私たちが関与できます。18歳までは親の許可がなければ外部との接触は無理です。見守隊として、継続して追いかけていきたいと思っています。

三枝 本当にロータリーでいう「DOING GOOD IN THE WORLD」世の中でいいことをしようを実現する活動ですね。

田村 女性が多いので現実的です。お祝いに5人位が積極的に参加しました。コロナが収束したら、衛星クラブももう少し入会者へのきっかけ作りが広がっていくと思います。

三枝 1年で会員が増えていますから。

田村 一方でハードルが低い分、退会もしやすいかとも思います。

三枝 一緒に奉仕活動や例会交流など、提唱クラブとの交流はありますか？

吉澤 コロナ禍により昨年1年の半分は例会無かったので、あらゆる奉仕活動ができませんでした。衛星クラブ立ち上がった後の2～3カ月は例会をしていましたが、その後は奉仕活動ができなかったのでお誘いもできませんでした。

田村 コロナ禍のため、ソーシャルディスタンスが取れる状態で例会をしないといけませんから。

吉澤 今年度はロータリー奉仕デーがありますから、できればとは思っています。

三枝 コロナ禍では事業が行いにくいですね。私のクラブではコロナのワクチン接種のボランティアに交代で出ています。ローテーションを組んで高齢接種者の介助をしています。接種会場の公民館では靴を脱ぎスリッパに履き替えますので靴の脱着と手指の消毒の補助、接種会場内のルートを外れないように誘導や、車椅子の人などのお手伝いをしています。最後になりますが、今年度の目標をお教えてください。

田村 目標は1つだけ。来年1月にロータリークラブへ移行の申請をするために、12月末までに会員数を20名にするということです。

三枝 大きい目標ですね。

田村 甲府シティRCの奈良田会員が甲府シティRC創立30周年実行委員長で5月に記念式典を行うので、それまでにチャーターナイトを行わないと困るということなので、1月にRIへ申請をして、2月に承認をいただき、3月にチャーターナイトを行うという流れです。皆さんに来ていただいてチャーターナイトを行いたいと思います。

三枝 これまでお話を伺っていて、会員数20名を確保できると感じています。ぜひ頑張ってください。応援しています。本日はお忙しいところありがとうございました。甲府シティ中央ロータリー衛星クラブのますますのご発展を祈念いたします。

知仙の 「友」の輪



知仙の友の輪



ロータリーの友 地区代表委員
吉原知仙(甲府南RC)

ロータリーの友 RI第2620地区代表委員を仰せつかりました、甲府南RCの吉原知仙です。一年間、宜しくお願い致します。

さて、9月はロータリーの友月間です。会員の皆さまは雑誌『ロータリーの友』(以下『友』)はどのような存在とお考えでしょうか。

ロータリーでは、ロータリアンの3大義務の一つに『友』の購読が掲げられている事からも分かるように、購読に対して非常に重きを置いています。RIの認可を受けての地域雑誌である『友』は、ロータリアンがロータリーライフを深めるためにも、またクラブがRIとのつながりを実感するためにも必要な媒体なのです。

横組ではRIの指定記事、ロータリーの特別月間の関連記事、特集など世界のロータリアンに向けた記事の日本語訳が記載され、また縦組では日本国内のロータリークラブに関連した多岐にわたる記事を目にする事が出来ます。まさに日本だけでなく世界中のロータリアンと情報を共有出来るコミュニケーションツールと言えるでしょう。

そんな『友』へ、2620地区の多くの皆さまからの投稿をお待ちしております。地道な奉仕活動やさまざまなプロジェクトを、このコロナ禍の中でも計画されている事と存じます。字数などは『友』の各欄に掲載されていますので参考にさせて頂き投稿をお願いいたします。

2620地区の皆さまの活動を、そして想いを、全国のロータリアンの方々に伝えましょう。『友』へ投稿し、読むだけでなく参加する事で多くの方々と輪を広げて頂きたいと思っております。

『友』デビュー、しませんか？

ロータリー奉仕デー計画一覧

開催予定日	RC名	会長名	担当者名	活動概要
2021年 9月4日	甲府	佐々木 宏明	上田 文彦	甲府RC会員と山梨県立甲府南高校IAC会員の共同作業により、地域の清掃活動を実施する。また、活動前に地元企業による環境をテーマとした講演を実施し、環境保全の重要性を参加者に啓蒙する。
2021年 10月～11月	浜松南	山口 宏規	中山 裕之	2018-19年度から参加している天竜浜名湖鉄道沿線に花を植え、地域の活性化につながる「花のリレープロジェクト」の活動を浜松東RC、浜松磐田信用金庫と共同で植えた花の手入れを行う。
2021年 10月11日	静岡北	小野田 貴	山崎 俊昌	市内中学校部活動クラブおよび県内外クラブチームを集め、静岡北RC杯バスケットボール大会をポリオ根絶募金活動と一緒にを行う。
2021年 11月23日	山梨	渡邊 唯史	志村 裕二	乙女高原の環境保護活動。5月に遊歩道を作り、夏季に繁茂した枯れ草を11月に刈り取り、翌年の春に備える。貴重な高原の荒廃、雑木林化を抑え、生息する動植物の生態系を守る。

お知らせ

◆熱海豪雨災害支援本部からのお知らせ

RID2620熱海豪雨災害支援本部(小林聰一郎DG・本部長)は8月20日(金)、齊藤栄熱海市市長を訪れ、6100万円の目録を贈呈いたしました。皆様から寄せられた浄財は、熱海市を通して、被災された約200世帯の皆様が生活に必要な物資を購入する資金に充てられます。皆様のご協力に深く御礼申し上げます。

熱海豪雨災害支援金は、国内は当地区を含めた33地区、地区内73RCおよびロータリー衛星クラブ、他地区1RAC、地区内3RAC、地区米山学友会、台湾米山学友会から寄せられました。今後送金予定のある地区やクラブがございます。

台湾学友会からロータリー米山記念奨学会を通して、支援金とともに送られてきた手紙を下記に掲載いたしますので、ご一読ください。



熱海支援金

◆台湾米山学友会と熱海市との絆

台湾米山学友会からの手紙

公益財団法人
ロータリー米山記念奨学会
齋藤 直美 理事長
柚木 裕子 事務局長
関係者の皆様



日本静岡県熱海市伊豆山地区にて、2021年7月3日に発生した史上最大級の豪雨は、土石流を引き起こし、僅か20秒で町の住宅を襲い、多くの尊い命、人々の住まいが失われることとなりました。自衛隊隊員の方々による救援活動が日々行われているとはいえ、被災地の捜索活動及び町の再建は、決して容易な道のりではないことと拝察しております。

日本政府におかれましては、台湾がワクチンの不足に最も苦しんでいた時、337万回分の「友情ワクチン」を寄贈してくださいました。日本が土石流災害に直面した今日、我々台湾米山学友会は、ワクチン支援への感謝の思いを胸に心一つにし、台湾元NT\$385,000元(約1,500,000日本円)の義援金を集めました。私達の思いが、熱海市伊豆山地区の捜索と再建の力になれることを心から願うと共に、被災者の方々が一日でも早く、日常を取り戻すことが出来ますよう、心よりお祈り申し上げます。

この度の義援金は、既に全額を日本米山事務局宛に振り込ませて頂きました。熱海市各被災地域への分配を、何卒よろしく願い申し上げます。最後になりましたが、日本事務局の日頃からのご協力とご支援に、心より感謝申し上げます。ありがとうございます!

社団法人中華民國扶輪米山會
理事長 郭錦堂